



- 出町柳から大悲山口（京都バス）……………約2時間
- 大悲山口から大悲山峰定寺（徒歩）……………約30分

### 京都府環境を守り育てる条例

（平成7年京都府条例第33号～前文抜粋～）

私たち京都府民は、人と自然が共生することのできる歴史と文化の香り高い健全で恵み豊かな環境を保全し、進んで安らぎと潤いのある快適で住みよい環境を創造していくことにより、現在及び将来の府民の健康で文化的な生活の確保に寄与する…



ゴミは必ず持ち帰りましょう。

お問い合わせ

京都府環境部自然環境保全課  
電話075-414-4706

平成27年4月発行



花<sup>はな</sup>背<sup>せ</sup>大<sup>だい</sup>悲<sup>ひ</sup>山<sup>さん</sup>

京都府歴史的な自然環境保全地域

昭和60年3月15日指定(京都市左京区)

京都府は、京都府環境を守り育てる条例に基づいて、京都市左京区花背にある大悲山の南斜面を京都府歴史的な自然環境保全地域に指定しました。

この地域では、大悲山の懸がいに臨む舞台造りの峰定寺本堂や由緒ある行場等がモミ、ツガのすぐれた天然林と一体となって歴史的風土が保持されています。

すぐれた歴史的な自然環境を府民の財産として守り、育てていきましょう。



峰定寺 仁王門とホンシャクナゲ

大悲山は、平安時代末期の久寿元年（1154）山岳修験者である観空西念かんくうさいねんによって創建された峰定寺の境内として山全体が山岳信仰の地となっています。

山容が吉野の大峰山に似ているところから北大峰とも呼ばれ、山中には修験道の行場となっていた岩場があります。

山ろくの仁王門や山腹の本堂、その東北隅にある供水所はいずれも重要文化財に指定されています。



ヒトリシズカ



峰定寺境内

# 花背大悲山京都府歴史的自然環境保全地域

大悲山(746m)



自然環境保全監視員が  
保全地域の監視や指導を行っています。

### ●大悲山西方尾根

大悲山の中でも特に立派な森  
になっているところです。  
ヒメコマツの林の下にシャク  
ナゲを伴う貴重なものです。

### ●修験道の行場

奇岩怪岩が樹林の生い  
茂るなかにそそりたっ  
ています。

### ●広葉樹林

本堂回廊から左の方  
向にミズナラ、アカ  
シデなどの広葉樹林  
が見られます。

### ●峰定寺本堂

懸がいに立つ舞台造りの  
本堂は、重要文化財です。

天然林

### ●参道沿いのシダ

豊富なシダ植物が観察  
できます。

スギ・ヒノキの林

### ●天然林と植林

大悲山周辺は林業のため  
ほとんど植林されており  
保全地域は、この地域の  
標本林として貴重な存在  
となっています。

### ●ヒカゲツツジの群落

ヒカゲツツジが群落をつ  
くっているのは、たいへんめ  
ずらしいことです。

コヤマキの大木

収蔵庫

仁王門

本堂まで  
30分

寺務所

### ●寺谷川

この川は桂川の  
源流です。

面積：24.30ヘクタール

- 特別地区
- 野生動植物保護地区
- 普通地区

所在地：京都市左京区花背原地町593

特別地区に指定されている区域では、自然を改変するような行為は、知事の許可がなければなりません。

野生動植物保護地区に指定されている区域では、次の33種の植物を採取禁止にしています。

アリドオシラン・イチリンソウ・イワウチワ・イワタバコ・イワヤシダ・ウラボシノコギリシダ・エビネ・オオフジシダ・オシャクジデンダ・カラクサイヌワラビ・ギョウジャニンニク・キヨスミヌワラビ・キヨタキシダ・コウヤクシノブ・コケシノブ・スギラン・ツレサギソウ  
トガリバイヌワラビ・トガリバメシダ・ナツエビネ・ヌカイチシダモドキ・ハグロソウ・ヒカゲツツジ・ヒメコマツ・ヒメサザラン・フクロシダ・フジシダ・ホソバコケシノブ・ホンシャクナゲ・ミヤマイラクサ・ミヤマウスラ・ミヤママコナ・ルイヨウショウマ



コウヤマキ



峰定寺本堂